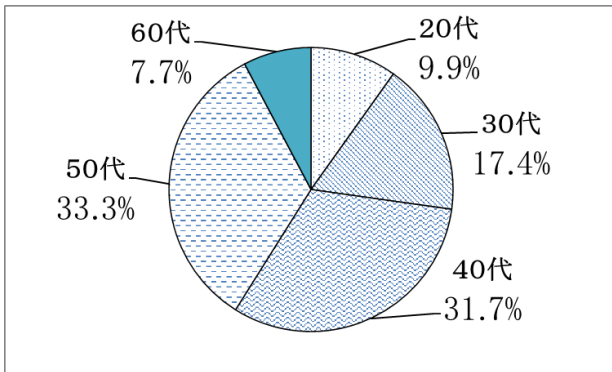


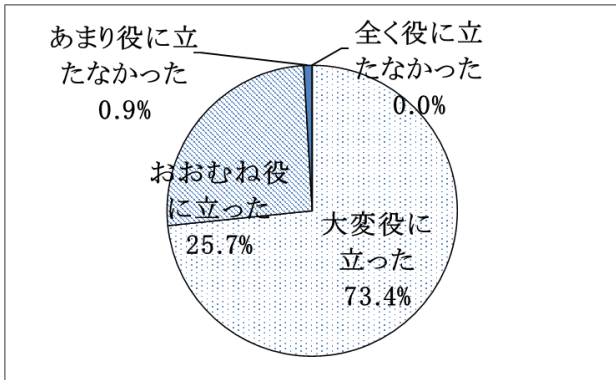
## 令和4年度 夏季講習会アンケート集計結果（回収数 428名）

(1) あなたの年齢に関して、その年代を教えてください。



参加者の年齢層は 40 歳代と 50 歳代が 3 分の 1 ずつであり、再任用教員の 60 歳代が増加傾向にある。

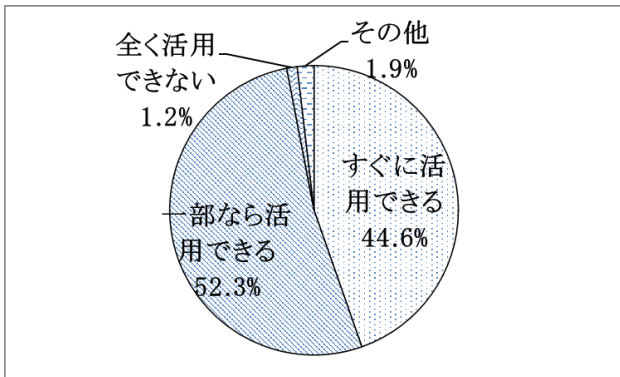
(2) 講習会の講義及び実習内容について、あなたはどのように感じましたか。



役に立たなかった理由、その他

- ・もっと技術的な内容を聞きたかった。
- ・IoT 実習を始められそうな気持ちになれた。
- ・先端の技術、機械に触れることができた。
- ・産業用ロボットの歴史と今後が勉強になった。
- ・ヘリコプターが分かり授業の幅が広がった。
- ・危険予知訓練の進め方や人間特性を理解できた。
- ・ペースが速くオンラインでは理解できなかった。

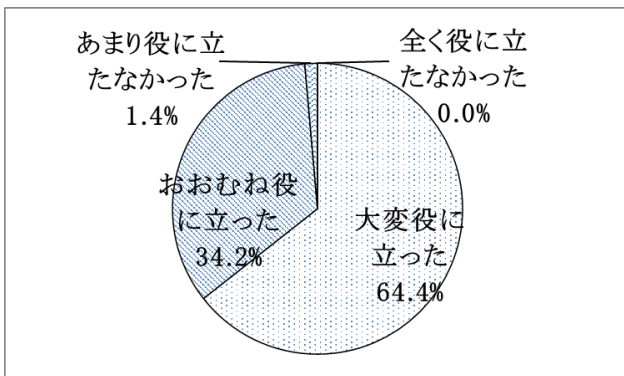
(3) 講習会の内容が現場の授業に活用できますか。



全く活用できない、その他の理由

- ・学校で使用のソフトが違いうし 3D プリンタも無い。
- ・基板加工機は導入予定もない状況である。
- ・OS の違いやドローンの購入など環境が異なる。
- ・SOLIDWORKS を使う授業を担当していない。
- ・内容が難しくなかなか活用できない。
- ・ベテランがまもなく大量退職を迎える中、若手を巻き込んで危険防止教育に取り組みたい。

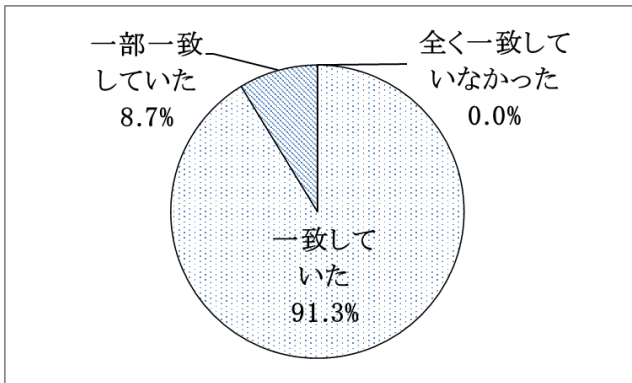
(4) 講義用教材について、あなたはどのように感じましたか。



あまり、全く役に立たなかった理由、その他

- ・配付資料と講義での説明内容が一致しなかった。
- ・自分で基板設計をするには CAD の使い方が難しい。
- ・CAD ソフトと基板加工機があつてのテキストである。
- ・授業用教材にそのまま落とし込むのが難しい。
- ・教材に記載漏れが多くレベルが低かった。
- ・操作方法が煩雑で活用がすぐに出来ない。
- ・スライドや印刷物は大変勉強になりました。
- ・感電や巻き込まれの体験ができた。

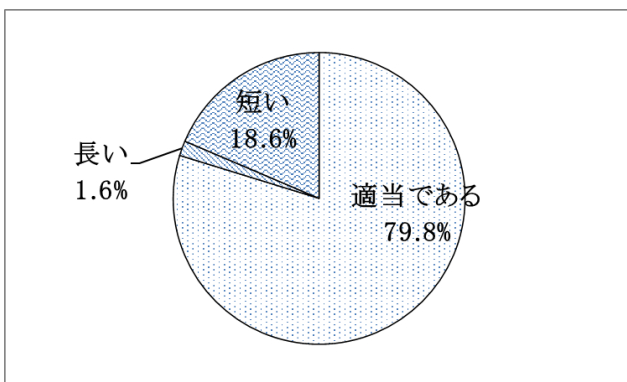
(5) 講義の内容とテーマが一致していましたか。



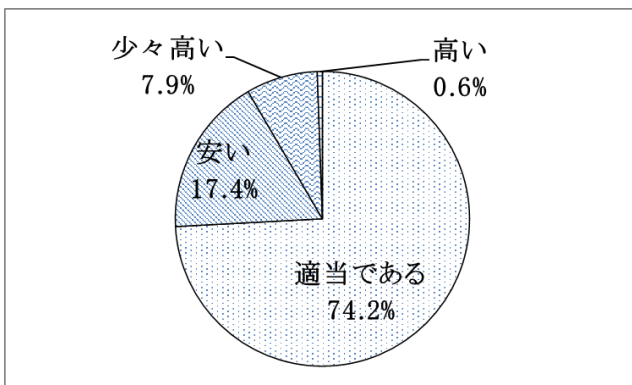
全く一致していなかった理由、その他

- ・ 題目通りの内容であった。
- ・ 今まで体験がなく実地体験の話が聞けてよかった。
- ・ 機会があれば本県の工業教員にも参加を進めたい。
- ・ 災害、危険予知・予防を教育に結びつけられる。

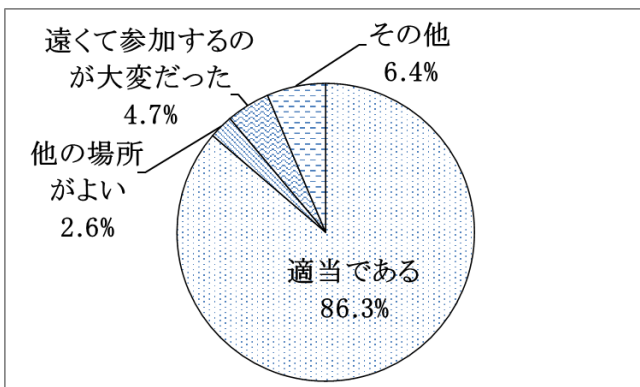
(6) 講習会の期間についてお尋ねします。



(7) 資料代のある講習会は金額と講習内容についてどうですか。



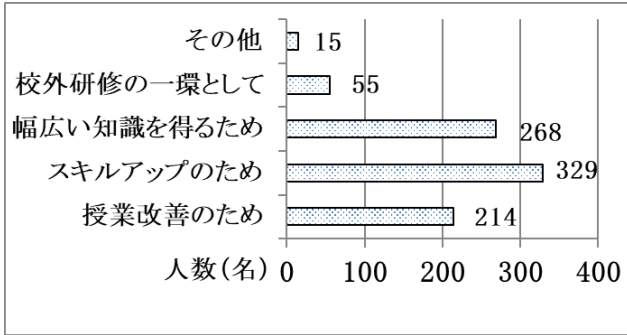
(8) 参加した講習会場の位置についてお答えください。



その他の理由

- ・ オンライン・ZOOM のため参加しやすかった。
- ・ オンラインで自校で交通費も必要なく受講出来た。
- ・ 対面による講習会にしてほしい。
- ・ 遠くて旅費宿泊費がかかったが内容には満足できた。
- ・ 午前午後で会場が異なり移動が大変であった。
- ・ 駅からの送迎があり適当だったが送迎がないと困る。

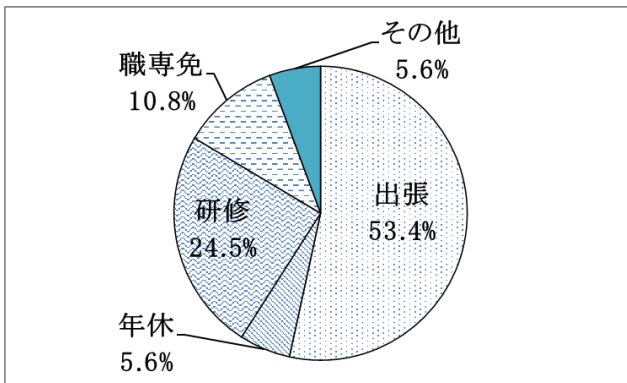
(9) 講習会を受講された動機をお聞かせください。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・部活動指導と競技力向上のため
- ・課題研究のテーマの教材として利用できるから
- ・進路指導の一環として
- ・資格取得と検定指導のため
- ・全国大会溶接部門に向けての情報交換
- ・課題研究に興味があったため

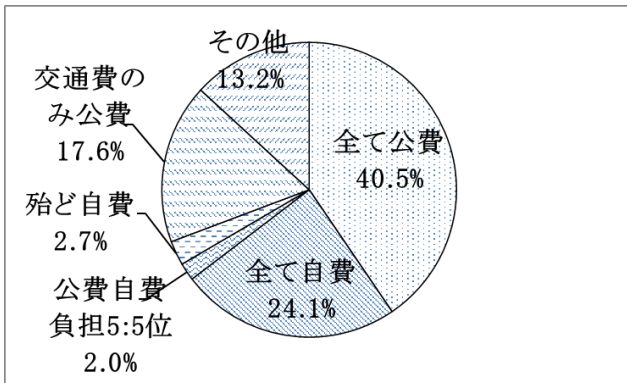
(10) 講習会参加の勤務の取り扱いについて。



その他の理由

- ・オンライン・ZOOM だったため通常勤務
- ・夏季休業中なのでテレワークで申請した。
- ・勤務地を離れての勤務

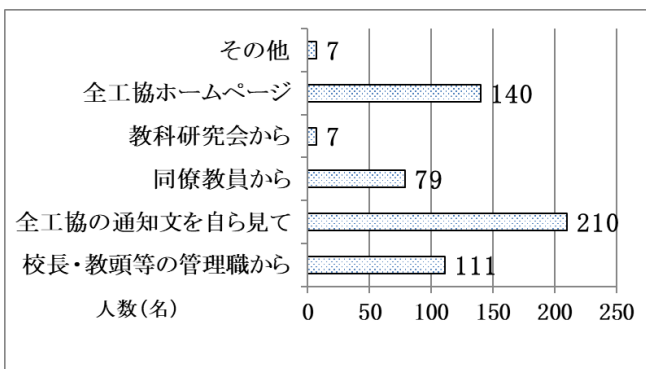
(11) 講習会の費用はどうされましたか。



その他の理由

- ・オンライン講習で費用はかからなかった。
- ・殆ど公費
- ・宿泊費と交通費の一部だけが公費
- ・交通費と前泊の宿泊費のみ公費
- ・参加費無料、交通費は自己負担
- ・オンラインの Net 回線パケット使用程度+電気代

(12) 講習会を受講するに当たり、どこから情報を得ましたか。(設問に対する複数回答あり)



その他の理由

- ・毎年参加しているから
- ・協賛会社からの夏季講習会の案内メール
- ・講習会開催者からの案内
- ・ロボット SI リーグの資料に記載されていた
- ・機械科主任の教員から
- ・管理職等が周知してくれないので、申し込み時期を自分で見当付けて注意して張り込んでいた。

### (13) 意見

#### ①どんな講習会を希望するか

- ・ロボット・宇宙・自動車関係の最先端技術の見学
- ・自動車の自動運転システムの講習会
- ・旋盤 1 級技能士や金型作製の講習会
- ・AI や IoT 関連の講習会の全国での開講
- ・機械加工技術や溶接技術の講習会
- ・マイコンロボット・モビリティの製作・制御
- ・具体的なロボットティーチング講習会
- ・Arduino を使用した C 言語研修
- ・ラズベリーパイによる制御講習会
- ・3D プリンタを使った製品作製
- ・ドローン実践講習会と申請等の講習会
- ・人力飛行機の製作
- ・缶サット甲子園に参加するための講習会
- ・3 級技能検定(化学分析作業)や環境計量士講習会
- ・工業化学に関する企業見学会と資格講習会
- ・危険物取扱者試験の資格取得の指導方法の講習会
- ・2 級建築士製図試験の矩計図の講習会
- ・国宝や重要文化財を題材にした建築の講習会
- ・木材加工や大工道具の手入れの実技講習
- ・航空・鉄道・建設・船舶業界の裏方の仕事体験
- ・航空機・飛行場スタッフ等に関連する研修会
- ・フライト体験ができる講習会
- ・ICT 活用と ICT 教材の作り方講習会
- ・知的財産権の啓蒙・促進の講習会
- ・参加しやすいオンライン講習会の充実
- ・夏休み以外や地方での講習会の開催

#### ②全工協会で取り組んで欲しい活動等

- ・専門教科・実習指導書のライブラリー化
- ・全国共通の実習装置の製作とテキスト作成
- ・教員の資格取得のための費用・講習会等の支援
- ・全国教職員技能競技会の開催による技術の伝承
- ・教員による研究論文の大会の開催
- ・先端技術や知識を持っている講師の派遣授業
- ・全工協主催の資格・検定等の増設
- ・工業界の最新記事等を雑誌にして欲しい
- ・「ものづくコンテスト」等のメディア PR
- ・工業の魅力を SNS 等でアピールして欲しい
- ・研修会・講習会が県外出張は自費の県が多いので、教員の研究と修養を保証して欲しい
- ・他県の教員との交流、意見交換をしたい
- ・工業高校生の都道府県をまたいだ交流会
- ・卒業生の離職を削減させるための取組み
- ・教員希望者が増える民間にない特典の政策
- ・全国の工業高校の統廃合・学級減への対応

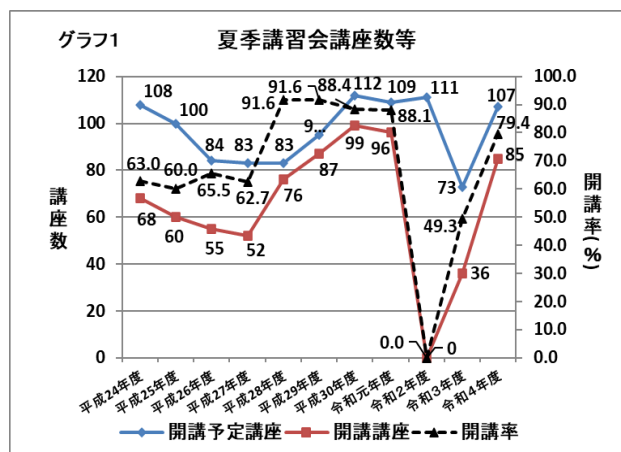
### (14) 夏季講習会の開講率と受講率

夏季講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大によって、令和 2 年度は中止、令和 3 年度は「開催会場と同じ都道府県に所在する高校教員のみ、講習会に参加できる」とする対面による講習会とオンライン講習会を併用して実施し、今年度は、移動の制限のない対面による講習会とオンライン講習会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大の防止としてオンライン講習会を実施したが、勤務地からの移動の制約や出張旅費の削減に貢献しており、おおむね認知されたので、今後も増加傾向になると予想される。ただし、現地での体験・見学や参加者同士の情報交換などは、対面による講習会が望ましいとの意見も多くある。

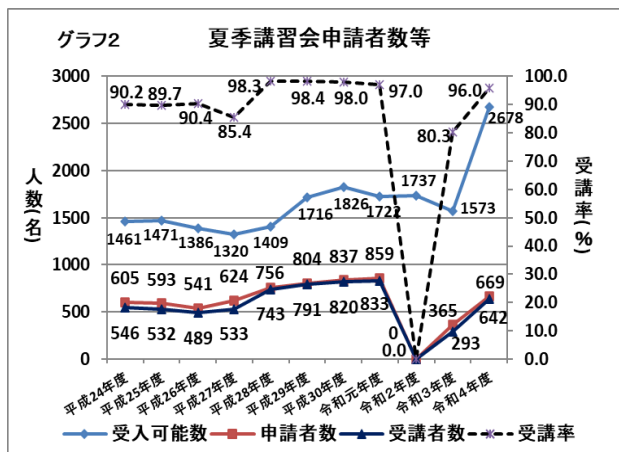
下図のグラフ 1・2 は、「夏季講習会の講座数・申請者数等」の過去 11 年間の推移である。平成 28 年度から、関係者の努力により開講率・受講率が飛躍的に向上し、年々、講座数・受講者数が増加傾向にあった。しかし、令和 2 年度の中止と令和 3 年度の対面による講習会の制限により、講座数・受講者数は減少したが、今年度は以前の数値に戻りつつある。また、オンライン講習会により受入可能数は増加している。

今年度の開講予定講座数は107講座と増加し、受入可能受講者数は2,678名でスタートした。その後、申請者が少なく開講できなかった講座及びコロナ感染症拡大により中止した講座があり、開講は85講座に減少し、最終的には669名が受講を希望した。開講率は79.4% 受講率は96.0%であった。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大の勢いは収まりつつあり、令和5年度こそは、正常に講習会が開催されることを祈っている。



開講率 = 開講講座 / 開講予定講座 × 100



受講率 = 受講者数 / 申請者数 × 100



夏季講習会風景（航空専門学校・東京ヘリポート）

次年度も夏季講習会をよろしくお願ひします。